

4回生 必修科目「公共」授業のシラバス

教科名	公民	科目名	公共	単位数	2	単位
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と社会についての見方・考え方を働かせる。 ・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。 ・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国会議員及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。 ・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 					
教科書	高等学校 公共（清水書院）		副教材	公共 資料集 2022（とうほう）		

1 学習の目標

- (1) 公共の基本的な問題として、地球環境問題、資源配分、科学技術の発達と生命、情報化・AIの進展、地域課題などを取り上げ、社会をとらえる枠組みとしての幸福、正義、公正の視点を理解します。
- (2) 社会の特質及びそこに生きる青年期の自己形成の課題について考えるとともに、よりよく生きることを追求した先哲の基本的な考え方について理解します。
- (3) 民主政治の基本的な考え方、日本国憲法の基本原理、日本の政治機構などについて理解し、現代の政治の諸課題について考察します。
- (4) 法の支配の意義を理解するとともに、現代社会における法の働きなどについて学び、裁判員制度に代表される国民の司法参加の意義について考察します。
- (5) 現代の経済の仕組みを市場や国民経済の観点から理解するとともに、日本の経済の動きを学び、政府による調整を必要とする消費者問題や雇用と労働、社会保障の現状と課題などについて考察します。
- (6) 国際社会の仕組みと動きを経済、政治の観点から理解するとともに、国際社会の諸課題について考察し、国際社会に生きる日本の役割について考えます。
- (7) 共通テスト、私立大学一般入試に対応できる学力を身に付けます。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - 教科書を一読して、疑問点を整理して授業に臨むと理解が深まります。また、レディネステスト等を活用して、中学校社会科公民的分野で学習した用語を復習してから授業に臨むと、効率良く授業の内容への理解が深まります。
- (2) 授業について
 - 1時間、1時間の学習テーマを大切にしながら日本や世界の政治や経済について、仕組みや課題を学習します。板書されたことその他に説明されたことをノートやワークシートにしっかりと記入し、それを資料集等で調べて理解したことを書き足す。教科書に記される基本事項を理解し、資料集で知識を広げる学び方を大切にしましょう。
 - 現代の社会の課題について、さまざまな面から考え、人間の社会のあり方として何が正しいのか、どのような社会をつくるべきかを考察します。社会の仕組みを理解していることは、大学入学後や社会人となってから求められる一般教養の一つです。自立した社会人として必要不可欠な知識を身に付けます。
- (3) 復習について
 - 授業で使用するワークシートなどをまとめてファイリングし、学習の成果と課題について自分なりにまとめましょう。問題集は、復習のために家庭学習で使用するものです。解答は、問題集に直接書き込まないで、ノートに書きましょう。問題集や授業で配付される演習プリント等を繰り返し反復練習しましょう。
 - 資料集を活用して、ノートやワークシートを整理しながら、授業の理解を深めて、その後問題集で知識の定着を確かめましょう。

〈学習アドバイス〉

○教科書は予習で活用し、資料集を中心に授業を理解し、自分でノートを作成し審査に向けた復習で活用する力をつけましょう。学習した内容を新聞やニュース、新書などで読み深めることにもチャレンジしましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料	評価項目														
		定期 考査	単元 テ スト	小 テ スト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノ ート	ワー ク シ ート	討 議	姿勢 態 度	作 文			
①知識・技能		◎	○	○										○		
②思考・判断・表現		◎	○			○		○	○	○	○		○	○		
③主体的に学習に取り組む態度		○	○			○		○	◎	◎	○	○	○	○		

〈担当者からのメッセージ〉

- 学習の基本は授業です。常に真剣な気持ちで取り組んでください。わからない問題は友人や先生に相談しましょう。
- そして授業→復習（宿題）→単元テストのサイクルを大切にしてください。
- 各章の終わりには単元テストを行います。学習計画をしっかりと立てて家庭学習に取り組んでください。
- 年に4回の定期考査を行います。計画的に家庭学習に取り組んでください。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

※授業内容を前倒し、あるいは一部順番を入れ替えて行う場合があります。

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	資質・能力
4	第1部 第2編 基本的人権の尊重と法 1 民主政治の原理	1 近代国家と立憲主義 2 日本国憲法の成立	<ul style="list-style-type: none"> 個人の人権と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解し、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察できる。 日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解につとめている。 	単元テスト 1 学期中間考査	ABCDEF
5	2 人権の尊重と日本国憲法	1 日本国憲法の三原理と人権保障 2 平和主義と国際社会 3 平等権 4 自由権 5 社会権 6 参政権の保障と国務請求権 7 新しい人権 8 グローバル化と国際人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢の理解につとめている。 日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察し、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めようとしている。 現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解しようとするとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察している。 		
6	第3編 1 民主政治の成立と課題	1 自由民主主義の成立と危機 2 現代の民主主義と課題 3 世論の形成と民主社会 4 政治参加と主権者（有権者） 5 選挙と政党	<ul style="list-style-type: none"> 民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解につとめている。 民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解し、主権者（有権者）として社会に関わる意識を高めている。 	単元テスト 夏休み課題	ABCDEF
7	2 日本の政治機構	1 国会の役割としくみ 2 内閣と行政機関 3 裁判所の役割としくみ 4 市民生活と司法参加 5 地方自治と住民の生活	<ul style="list-style-type: none"> 国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解し、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察している。 司法制度の仕組みと課題を理解し、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察している。 地方自治の仕組みを理解し、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察している。 		
8	第4編 1 私たちと経済活動	1 私たちと経済 2 仕事と社会 3 国民経済とGDP	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活における経済の役割について理解している。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけようとし、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察している。 	1 学期期末考査	ABCDEF
9					
10	2 経済社会のしくみと役割	1 社会のしくみとしての市場 2 市場の機能 3 市場の限界 4 金融とそれはたらき 5 財政とそれはたらき 6 現代の企業 7 労働問題 8 社会保障の役割 9 少子高齢化と財政の維持可能性	<ul style="list-style-type: none"> 市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解し、その役割と課題について多面的・多角的に考察している。 現代の企業の仕組みと特色を理解し、企業統治や企業の社会的責任などについて考察している。 日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察している。 	単元テスト	

1 1	第1編 公共的な空間をつくる	1公共的な空間をつくる私たち 2公共的な空間における人間 3公共的な空間における基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解し、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めている。 ・ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索するとともに、人生における宗教や芸術の持つ意義について理解している。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解し、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察している。 ・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識するとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察している。 ・生命科学や医療技術の進展にもなっ生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索するとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察している。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解し、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察している。 ・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解し、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察している。 ・ハーバースやアーレント、ロールズらの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察している。 	2期中間考査	ABCDEF
1 2					
1	第3編 3 国際政治のしくみと役割	1国際政治の成り立ち 2国際連合の設立とその役割 3冷戦とその終焉 4軍縮と安全保障 5リージョナリズム 6グローバル化と国家	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解し、国際社会が抱える課題を考察している。 ・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解し、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察している。 	単元テスト	ABCDEF
	4 国際政治の現状と課題	1現代の紛争 2多文化・多民族社会に向けて 3移民と難民 4日本の戦後外交と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際紛争の諸要因について理解し、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解しようとしている。 ・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察している。 	単元テスト	
2	第4編 3 国際経済の現状と課題	1国際取引引きと国際収支 2自由経済とグローバル化 3国際経済のこれから	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済についての基本的な知識を身につけ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察している。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解しようとしている。 	2期期末考査	ABCDEF
3	第5編 持続可能な社会をつくる	Theme1 人間は人工知能(AI)とどのように共存すればよいか? Theme2 何のために環境を守るのか? Theme3 食料と水資源の配分をどう考えるか? Theme4 少子高齢化と社会保障の問題を考える Theme5 地域とつながり、地域に生きる、地域社会との接点	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を基礎に、人工知能・環境・資源・少子高齢化・地域社会について、「幸福」「正義」「公正」などの観点から課題を見出し、その解決策を多面的・多角的に考察している。 ・持続可能な社会づくりを担う、公共の精神をもった自立した主体として、主体的に社会に参画し、共に生きる社会を築くという姿勢が身についている。 		ABCDEF